

目次

概要

[場合によっては影響を与えられたシステム \(~11000 のサーバ\):](#)

[顧客表示/影響:](#)

[対応策オプション:](#)

概要

この資料のインテントは Cisco C220 M4 および C240 一部の M4 サーバで見られるように周辺機器コンポーネント相互接続 Express (PCIe) オプション ROM 設定に関する製造上の問題に対処することです。いくつかの Cシリーズ サーバはブーティングから多くの PCIe によって基づくデバイスにそれらを防ぐ不正確な PCIe オプション ROM 設定を持つ顧客に提供された (RAID コントローラを含むがそれに限定されず/シリアル接続 SCSI (SAS) Host Bus Adapter (HBA)、マザーボード (MLOM) のモジュラ LAN または他のネットワーキング カードまたは HBAs。後で手順はこれによって影響を与えられた resolveing 顧客で助けます。

場合によっては影響を与えられたシステム (~11000 のサーバ):

C220 M4: 2 月 14 日と 3 月 28 日の間に提供されたシステム

C240 M4: 2 月 14 日と 3 月 28 日の間に提供されたシステム

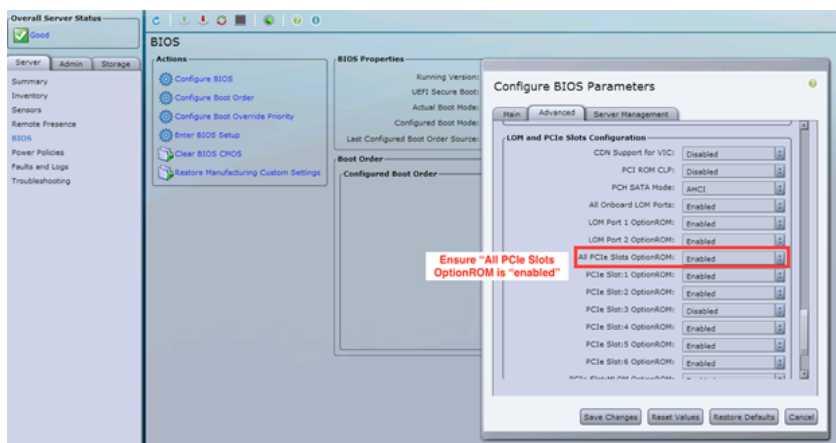
顧客表示/影響:

顧客は「すべての PCIe スロット OptionROM」フラグがディセーブルにされたので PCIe あらゆるスロットによって基づくデバイスから起動することができません。顧客はこの BIOS トークンを切り替える必要があり下記に述べられた回避策メソッドの何れかを使用してそうすることができます。

対応策オプション:

対応策 #1 (推奨):

IMC へのログイン、およびサマリ/BIOS へのナビゲートは下記に示されているように /BIOS/Advanced タブを設定します。

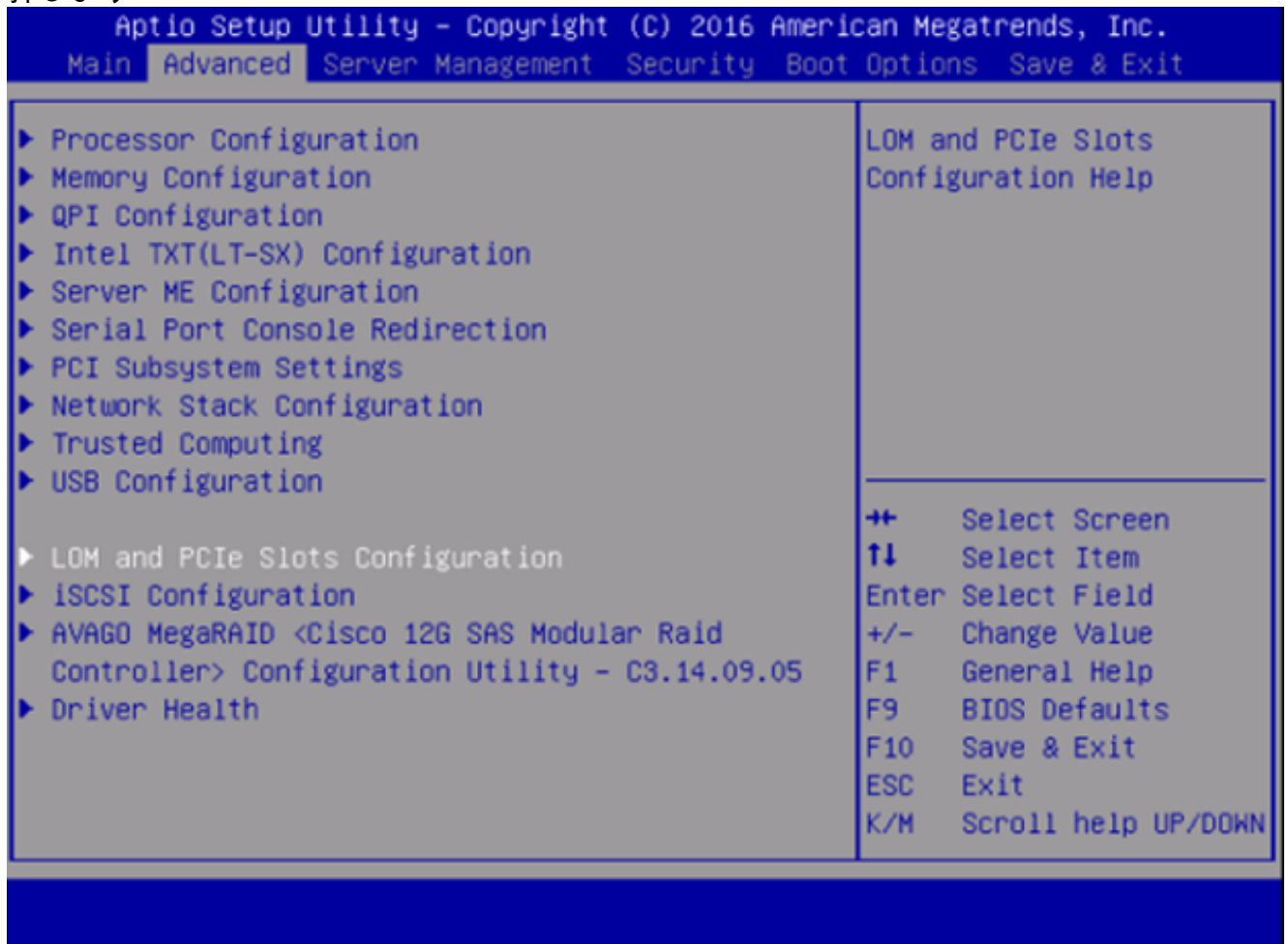


設定して下さいか。PCIe すべてのスロット OptionROM が。フラグへのか。イネーブルになったか。変更を保存し、ホストをリブートして下さい。

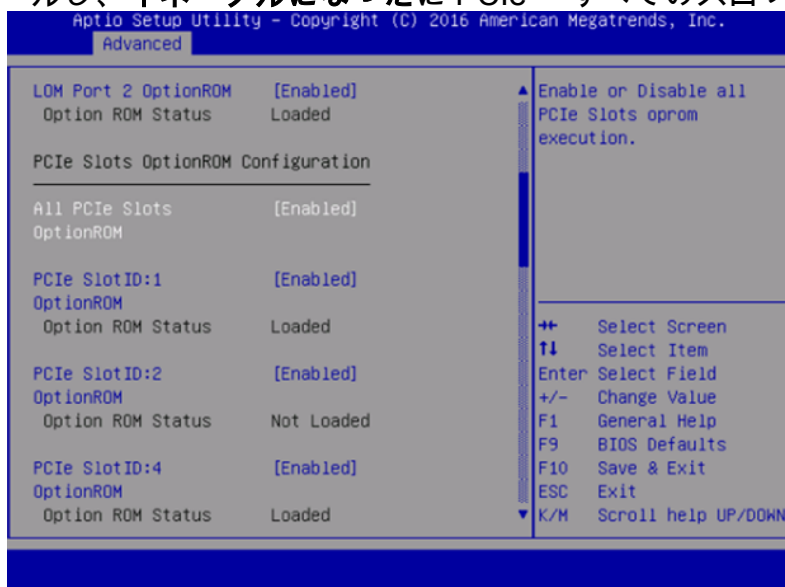
対応策 #2:

システムへの接続応答クラッシュ カート/起動 vKNM。システムに動力を与え、設定するのに F2 メニューを使用して下さいか。PCIe すべてのスロット OptionROM が。イネーブルになったへのフラグ。

1. 高度 LOM および PCIe スロット Configuration タブへのナビゲートは、および『Enter』を押します



2. スクロールし、イネーブルになったに PCIe 「すべてのスロット OptionROM」を設定して



下さい

3. 変更を F10 を押すことによって保存し、サーバをリブートして下さい。

対応策 #3:

注：この対応策は Cisco IMC がオンラインであり、IP が知られていると仮定します。このスクリプトはまた admin/パスワードのデフォルト IMC 資格情報を使用します、従ってこれらに変更されたらユーザは \$pass フィールドを要求に応じて修正する必要があります。

このソリューションは DHCP に IP を使用した顧客のためです 1つ以上のシステムにログインし、設定するのに XML API を使用して下さい。PCIe すべてのスロット OptionROM か。正しいフラグ。サンプルスクリプトは下記のように提供されました:

ステップ 1: 次のページからのダウンロード IMC PowerTool モジュール:

[IMC PowerTool](#)

<filename>.ps1 ファイルのように次のファイルを保存して下さい及び実行して下さい:

インポート モジュール CiscoUcsPs

\$multiimc = 設定されるUcsPowerToolConfiguration - SupportMultipleDefaultUcs \$true

#ツールはプロンプトユーザ IP を入力しますか。実行された場合 s

\$imclist = リードホストは「入力します IMC IP の Cisco IMC カンマ」で分かれる IP カリストを

[アレイ] \$imclist = (\$imclist.split (「」、)).trim()

\$user = 「admin」

#デフォルトパスワードは次の行 (必要に応じてアップデート) にあります

\$pass = ConvertTo-SecureString か。ストリング「パスワード」か。AsPlainText -強制

\$cred = 新しいオブジェクトか。型名 System.Management.Automation.PSCredential か。
ArgumentList \$user、\$pass

\$out = 接続応答Imc -資格情報 \$cred \$imclist

設定されるImcRackUnit - RackUnit 1 - AdminPower はソフト締まりました-強制

得てImcBiosSettings 下さい | 得てImcBiosVfPCIOptionROMs 下さい | 設定される
ImcBiosVfPCIOptionROMs - VpPCIOptionROMs は「有効になりました」-強制

スリープ 25

設定されるImcRackUnit - RackUnit 1 - AdminPower -強制

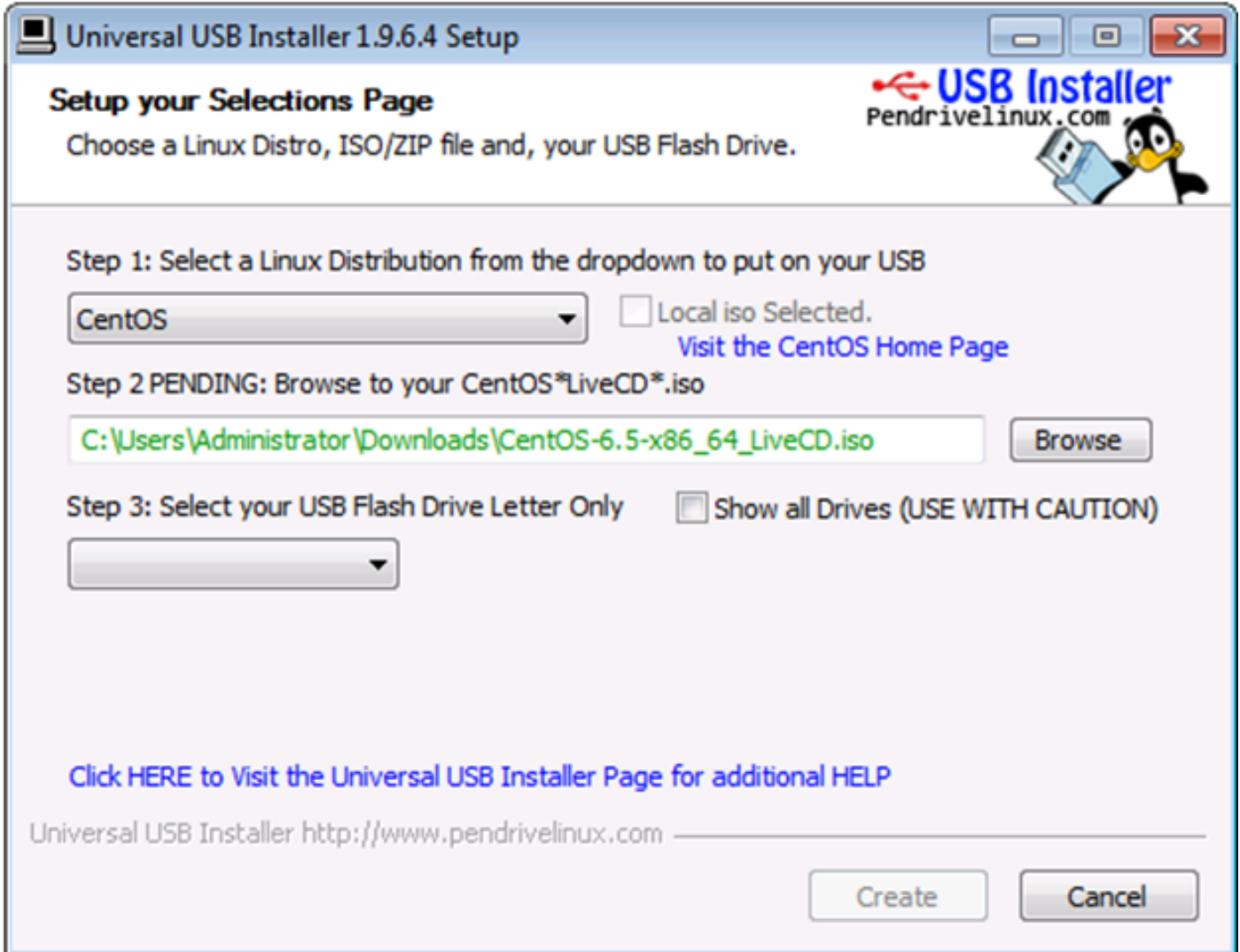
\$out = 接続解除Imc

対応策 #4 (UCScfg のライブ Linux USB):

この対応策はそれ含まれています OptionROM 設定を訂正するのに必要なツールがライブ起動可能な USB を作成することを含みます。少なくとも 4GB であるこれはブランク USB を必要とし

ます。注：ステップは下記の Windows 7 で実行されました。

1. ライブ .iso イメージをここにダウンロードして下さい: [CD は住んでいます](#)
2. ここのダウンロード ユニバーサル USB インストーラ:
<http://www.pendrivelinux.com/universal-usb-installer-easy-as-1-2-3/>
3. 起動 UI は望ましい Linux ディストリビューションとして、CentOS を選択し
4. ステップ 1. でダウンロードされる .iso を UI を指して下さい。
5. select にインストールするために USB ドライブを望み次にクリックしますか。作成して下さいか。完了するためにプロセスを待つして下さいそして USB は使用可能です。



6. USB の影響を受けたサーバにプラグを差し込み、望ましいブート デバイスとして選択して下さい。

注：上のイメージがロードされた USB は CentOS に起動し、次に UCScfg 一連のコマンドを起動させます。この特定の .iso は optionROM 設定を訂正し、最初のブート デバイスとして MLOM ポート 0 を設定します。コンフィギュレーション変更の後で、サーバ電源遮断に完了して下さい。変更は次の電源で示されます。UCScfg が望まれるように BIOS/IMC 設定をカスタマイズするのに使用することができ上に表示されるプロセスはちょうど例、正しいこの技術情報だけで述べられる問題をためにであり。